

# ムーアカデミー通信



Aichi Kaisho Forest Center News Letter Since 2007



真っ白でいつもより  
なんだか明るい、雪の日  
の海上の森。

まだまだ寒いけれど、  
もう春はすぐそこまで  
来ているよ！



ニオイタチツボスミレ

## 特集 海上の森はいま



### 平成 22 年度あいち海上の森大学閉校式 海上フォレストキンダーガーデンを紹介します



**この人！**

「海上の森の森づくりの中に子どもたちの成長を夢見る」  
森林インストラクター 大澤 秀文さん

情報ライブラリー新着図書を紹介します

### 「鳥の骨探(トリノホネタン)」

表紙に書かれているように「主要鳥類の全身骨格標本と頭骨・胸骨・翼の骨・脚の骨等の分解骨からみる骨格バードウォッチング」ができます。骨の写真ばかりがたくさん載っているため、少々気味悪く感じる人もいるかもしれませんが、鳥類がなぜ重力に対抗し「飛行」という独自の生態を獲得できたかを考えるために重要な骨の役割や形の不思議さ面白さが浮き彫りにされています。

また、某ファーストフードチェーン店のフライドチキンの骨を調査し、理論上5ピースあれば半身骨格標本ができるなどという楽しいコラムも掲載されています。



特集 海上の森はいま

# 平成 22 年度あいち海上の森大学閉校式



冬鳥の声がひびく、あいち海上の森センターにおいて、平成 22 年 12 月 4 日、あいち海上の森大学の閉校式が行なわれました。第 4 期となる今年度は、27 名（森林再生コース 10 名、国際交流コース 7 名、企業活動コース 10 名）の方が修了され、マリ クリスティーン学長から一人一人に修了証書が授与され、青木章雄 農林基盤担当局長及び竹中千里 あいち海上の森大学コーディネーターから祝辞を受けました。

また、今回で 3 年目になりますが、国際交流コースの方には、瀬戸国際ソロプチミスト会長さんから奨学金の贈呈と激励の言葉をいただきました。

修了生の中には、受講途中で森林整備活動を行う NPO 団体に入会されといった方もありましたが、閉校式に先立ち

行った意見交換会では、大学での成果を踏まえ、これからそれぞれ立場でどう活かしていくのかなどについて活発な意見が交わされました。そして、今後の活動について活動宣言をひとりひとり行いました。今後のご活躍を期待しております。

※ 修了生の活動宣言は、「あいち海上の森大学放送局」(<http://www.mu-academy.jp/daigaku/index.aspx>)にて公開しております。



## 海上フォレストキンダーガーデンを紹介します

海上の森 森のようちえん「海上フォレストキンダーガーデン」をご紹介します。「森のようちえん」とは、園舎を持たず、森の中で行う保育活動で、環境教育先進地とされるドイツ等で広く実施されています。

あいち海上の森センターでは、幼児（3～6 歳）が森で活動できるよう、平成 20 年度に「海



上の森 幼児森林体験フィールド」を整備しました。このフィールドで、「はちまん幼稚園（瀬戸市）」の先生方を中心に、「海上フォレストキンダーガーデン」を実施しており、平成 22 年 11 月から平成 23 年 3 月までの間、土曜・日曜日を中心に月 1・2 回のペースで、親子約 60 名が、森の中で自由に遊ぶ体験をしています。

森の中での体験は、さまざまです。歌をうたっ

たり、紙芝居を見たり、色や形の違う葉っぱをさがしたりします。散歩をすることもあれば、体を使って山の斜面のぼりをすることもあります。また、木の枝やどんぐり、木の実などの森の素材を使って工作もします。

豊かな自然や里山での子どもの体験は、五感を育むために貴重な経験です。また、地域（瀬戸市）の人とふれあい、地域のことを知る大切な機会でもあります。「海上フォレストキンダーガーデン」では、幼児が森に親しみ、遊び、感性を育み、ことばを豊かに伝え合い、友達の輪を広げることを教育の理念として活動しています。







「海上の森の森づくりの中に子どもたちの成長を夢見る」  
森林インストラクター 大澤 秀文さん

海上の森は、多数の希少種生物の保全の場であり、長き歴史文化伝承の場、里山再生の場、森林再生の場、環境教育の場、そして子どもたちのあそびの場と言う『自然環境の総合的サイト』です。さらには名古屋近郊にあり、私たちにとって守り続けていくべき大切なところと思っています。

その海上の森で、私は海上の森の会の森林ボランティアとして森に光りを入れ、野鳥が飛び交う森づくりに汗を流し、そしてまた里山の雑木林の中に子どもたちと自然を最大限利用した‘あそび村’づくり（フジつるでターザンごっこや裏山にひみつ基地づくりなど）をしています。もう一つ森林インストラクターとして海上の森センター委託の海上の森の会‘森の教室’自然探検を企画・実施担当しています。自然環境体験活動の中から一人でも多くの子どもたちが、森のふしぎを知り、森で楽しみ、森を大切にすることを醸成するこ

とを狙いに進めています。多くの人に参加してもらえるとうれしいですね。

海上の森との出会いは30年前ぐらいで、子ども二人を連れてよく森の中でセミやカブトムシ取りに熱中したものでした。今でも良く憶えてくれて自分の子どもたちを時々森に連れて行くそうです。私の活動がそんな海上の森の自然の中で‘野あそび’や‘森の教室’を通じて子どもたちが“あそび”から“学び”へ成長し、将来にわたり自ら喜んで“自然環境保全活動”にほんの少しでも繋がってもらえればと思っています。そのためにより良い海上の森に向けて多くの仲間たちと共に、森づくりに励んでいます。30年後・50年後を思い浮かべて・・・。

**プロフィール** 1947年生まれ。瀬戸市在住。森林インストラクター、環境教育インタープリターとして活動中。主に森林インストラクターとしてなごや環境大学 共育講座「子ども樹木博士」講師など。



センター職員の随想リレー

かたりべのひと言!

一 生物多様性保全の取組 一

森林、水田や田畑、水辺など様々な環境がモザイクのように組み合わされている海上の森には、多様な生物が生育・生息しており、約3,400種の生物が確認されています。

愛知・名古屋で COP10 が開催された今年、参加国の方々がエクスカージョンで海上の森に来られるなど、例年にもまして、多くの方が海上の森を訪れ、里山の風景や海上の森が育む多くの生き物を実感し、社会や暮らしに果たす生物多様性の意義とその保全の重要性を改めて認識されたことと思います。

愛知万博の理念と成果の継承を目的に設置された当センターは、平成18年の開所以来、森林・里山の果たす役割とその大切さを県民の方々とともに考えてきましたが、COP10を機会に高まった「生物多様性保全」の輪をより一層広めていくよう、海上の森の保全と活用の事業に取り組んでいきたいと考えています。(K・K)

森のなかま

ニホンノウサギ *Lepus brachyurus*

ニホンノウサギは、頭胴長 45～54cm、体重 2100～2600g で、鋭い聴覚をもつ長い耳と俊敏な走行性をもつ長いあしが特徴の日本固有種です。積雪量の多い地方では、冬季に耳の先端の黒い毛を除いて体毛が全て白化します。食性は植物食で草本類、木本類などの葉、枝、樹皮など多様ですが、猛禽類やキツネ、テンなどの食肉類に捕食されます。このため満1歳まで生き残れる個体は20～50%だけとされます。

今年の干支は「卯」ですが、なかなか野生のウサギには出会えないもの。とは言え、海上の森でも、雪の積もった早朝には足跡を見つけることができるかも知れません。

(参考：平凡社「日本動物大百科第1巻」。左の写真は遊歩施設内にて撮影したもの)



## 展示の目玉

### 「絵合せクイズ」作成しました

海上の森で生きているものを題材とする絵合わせクイズゲームを作成しました。展示室内西側にあるコンピューター(自然観察インフォメーションの閲覧用PC)にインストールしてあり、現在は、「鳥の親子編」と「野菜編」の2つのシリーズがあります。

遊び方はとってもシンプルで、「鳥の親子編」の場合、同じ種のヒナと親鳥になるように組み合わせさせてください。「鳥の親子編」「野菜編」どちらも5問ずつあり、実際に海上の森にやってくる鳥、また、海上の里で育てている野菜からの出題となっています。このクイズゲームで鳥や野菜の名前や特徴を覚えてから、森を散策してみたいかでしょうか。



## その他のお知らせ

### エコトイレの利用について

海上の森内には、2箇所(入口駐車場、里山サテライト)にエコトイレを設置しています。このエコトイレは、汚水を浄化し、洗浄水に循環再利用する循環式のエコトイレで、手洗いは、雨水を利用しています。

このうち、入口駐車場のエコトイレで、昨年12月のはじめに使用できなくなったことがありました。

これは、誰かが異物を流し、詰まってしまったためとされます。利用者の方々が気持ちよく使えるよう、公共トイレの使用マナーを守りましょう。

- ① 水に溶けない紙など異物は絶対に流さないでください。
- ② 一定規模の洗浄水を利用すると水が流れなくなることがあります。必要以上に水を流さないでください。

皆様のご協力をお願いします。

## 平成23年度 海上の森体験学習プログラム (予告)

イベント名	開催時期	定員	対象
調査学習会 ー海上の森の春の植物ー	5月上旬	30名	小学生以上、小学生は保護者同伴
森の楽校(がっこう) 幼児対象の「森のようちえん」も同時開催!	5月中旬	30名 20組	小学生以上、小学生は保護者同伴 幼児とその保護者
調査学習会 ー海上の森の野鳥ー	5月中旬	30名	小学生以上、小学生は保護者同伴
森の教室	5月中旬	50名	小学生以上、小中学生は保護者同伴
里の教室(第1回、全10回1セット)	5月中旬開始	100名	
森の楽校(がっこう) 幼児対象の「森のようちえん」も同時開催!	6月上旬	30名 20組	小学生以上、小学生は保護者同伴 幼児とその保護者

\* このプログラムの開催時期・内容等については変更となる場合があります。なお、詳細が決定次第、あいち海上の森センターホームページ(<http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>)及びセンター本館での掲示等によりお知らせします。  
\* 参加受付は、プログラム開催日の2ヶ月から2週間前まで(ただし、5月開催分は4月1日から開始)とし、定員を超える応募があった場合は抽選により決定します。(はがき、FAX 又は E-mail での受付とします。)

### ◇ 愛・パーク2周年記念イベント(3/19(土)開催) あいち海上の森センター会場

申し込み・問合せ/あいち海上の森センター

<親子森のたんけん隊> 幼児森林体験フィールドでスタッフと森を探検 ※事前申込み(先着20組)

① 10:30-12:00 ② 13:30-15:00 場所:海上の森幼児森林体験フィールド

<森のクラフト> 海上の森で集めた自然の素材を使った工作体験 ※当日受付(申込不要)

10:00-15:00 場所:あいち海上の森センター2階工作室

#### 編集後記

海上の森で働き始めてまもなく1年がたちます。猛暑の夏の日、寒い雪の日続き、春はスギ花粉の大量飛散が予想されるなど、自然の厳しさを実感しています。とは言え、ズカカンアオイを見てはギブチョコに思いを馳せるこの頃です。

編集・発行 あいち海上の森センター(ムーアカデミー)

発行日 平成23年2月15日

〒489-0857 瀬戸市吉野町304-1

TEL 0561-86-0606 FAX 0561-85-1841

E-mail kaisho@pref.aichi.lg.jp

URL <http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>

